

女性の片頭痛は心臓血管病のリスクに

片頭痛と虚血性脳卒中リスクの増加に関連があることは知られているが、心臓血管病リスクや心臓血管死との関連についてはよくわかっていない。本研究では、女性における片頭痛と心臓血管病の発症や心臓血管死との関連性について、前向きコホート研究を実施し検討した。

米国看護師健康調査Ⅱ(NHSⅡ)に参加した、試験開始時に狭心症および心臓血管病のない女性看護師(25~42歳)115,541例を対象に20年以上追跡した。累積追跡率は90%であった。結果、片頭痛と診断された女性は17,531例(15.2%)であり、心臓血管病の発症は1,329例、心臓血管病による死亡は223例であった。潜在的交絡因子の補正後、片頭痛のある女性では片頭痛のない女性と比較し、心臓血管病のリスクが高かった(ハザード比1.50)。さらに片頭痛と心臓血管病による死亡リスク増大との有意な相関が認められた(ハザード比1.37)。年齢(50歳未満/50歳以上)、喫煙歴、高血圧の有無、閉経後ホルモン療法(治療中/治療していない)、経口避妊薬使用の有無を含めたサブグループ解析においても、類似の結果となった。

したがって、女性の片頭痛と心臓血管病の発症や心臓血管死に一貫した関連が認められ、女性においては片頭痛が心臓血管病のリスクとなることが示唆された。片頭痛患者の心臓血管病リスクを低下させる予防的戦略を明らかにするため、今後さらなる研究が必要である。

出典：British Medical Journal(Clinical research ed.). 2016; 353: i2610